

とち技（ぎ）プロフェッショナル・ワークショップ 2025 実施計画書

1 趣旨及び目的

本県産業における持続的な発展のためには、とちぎで優れた技術等が学べることを全国に発信するとともに、県内外の若者等にとちぎで優れた技術・技能を身に付けてもらうことで、優れた人材を継続的に輩出し続けることが重要である。

学びたい意欲のある若者等に対し、幅広い分野における優れた技術と特色ある学びの場を提供することを目的に、業界の第一線で活躍するプロフェッショナルから、より優れた、実践的な技術・技能に関する指導を受けるための体験型公開講座を開催する。

2 主催

栃木県

3 日程

- ・令和7年9月から令和8年2月までの期間とし、具体的な開催日程は後日決定する。
- ・テーマごとに各1日程度とし、計3回以上開催する。

4 会場

開催内容に応じて実技指導や実習が可能な県内施設とし、具体的な会場は後日決定する。

5 対象

高校生等の10代後半～20代の若者等、開催分野の専門学校生 各テーマ50名程度

6 内容

- ・講師による実技・デモンストレーション及び講師の指導による体験型プログラムとする。
- ・テーマは「調理・製菓」、「ものづくり」、「伝統工芸」とする。
- ・参加料は無料とする。

7 留意事項

- ・「伝統工芸」をテーマとする回については、県工業振興課が開催する以下のイベントとの連携など、効果的な内容を提案すること。

イベント名 伝統工芸品の未来を考えるシンポジウム（仮称）

日時 令和8（2026）年2月21日（土）10時から16時まで

会場 ライトキューブ宇都宮 中ホール
（宇都宮市宮みらい1-20）